

第4回 久万高原町都市計画マスタープラン等策定委員会 議事録

令和3年11月9日（火）に第4回久万高原町都市計画マスタープラン等策定委員会を開催しました。



■ 会議の流れ

- 1：開会
- 2：議事
地域別構想（面河地域・美川地域・柳谷地域）について
- 3：閉会

※委員（15名中11名出席、1名代理出席）
地域代表（10名出席）



■ 委員等からの主な意見

【グループワークの主な意見など】

地域別構想（面河地域・美川地域・柳谷地域）について

第3回策定委員会で実施した久万地域の地域別構想の検討結果および残りの3地域の方針案を説明したうえで、A班（面河地域）・B班（美川地域）・C班（柳谷地域）の3班に分かれ、意見交換や地域づくりの目標の検討を行った。各班の主な意見及び委員長による総括は以下のとおり。

※参考 久万地域における地域づくりの目標（案）

『賑わいのあるまちなかと自然がバランスよく共存する“ふつつ”に暮らせるまち』

A班（面河地域）

【地域づくりの目標】『清流とやすらぎのさと』

- 環境保全を行うことにより仁淀川の清流を守るとともに面河溪を活用した観光施策を重点的に取り組むべき
- 面河ダム等にあるキャンプ場や道路、トイレ等の整備による利便性・快適性向上を図る
- 地域で活動する様々な団体が連携し、今後のまちづくりを進めていくべき

B班（美川地域）

【地域づくりの目標】『人と自然と文化が共存するまち』

- 世界に誇る上黒岩岩陰遺跡の周辺整備や道の駅みかわとの連携の推進
- 美川スキー場跡地や御三戸周辺等をキャンプ場として活用したい
- 公共交通空白地における交通利便性向上や個別で実施されている買い物支援等のスムーズな運行が必要

C 班（柳谷地域）

【地域づくりの目標】『柳谷はひとつ』

- ガソリンスタンドや ATM など、支所や小学校周辺を中心にライフラインを維持していくべき
- 四国カルスト周辺の渋滞問題（道路）など、ハード面での対応をまず行うべき
- 柳谷には3つの大字があるが、順次、地域運営協議会が立ち上がっているため、行政と連携し、公共交通空白地対策も含め、地域が一つとなって課題解決に取り組みたい

総括

- 地域資源や生活利便性等で地域毎に課題が多く挙げられたが、来年度以降に着手できるものもある
- 自然（特にキャンプ場）や人・組織といった3つの地域共通の魅力を活かす視点が必要